

4

パソコンの取り扱い

日常のパソコンの取り扱いや消耗品について説明しています。

- 1** 日常の取り扱いについて 84
- 2** 内蔵バッテリーの交換 89



1 日常の取り扱いについて

● 連続運転について

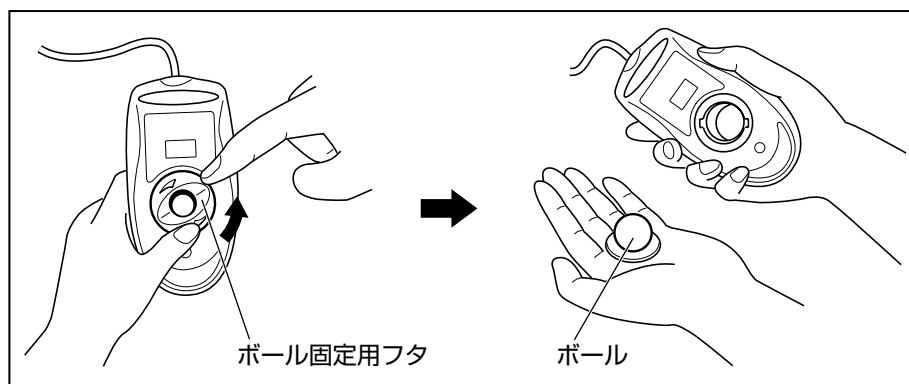
長時間の（24時間を超えるような）連続運転をしないでください。
パソコン本体を使わないときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。
長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

● 日常のお手入れと保管・運搬

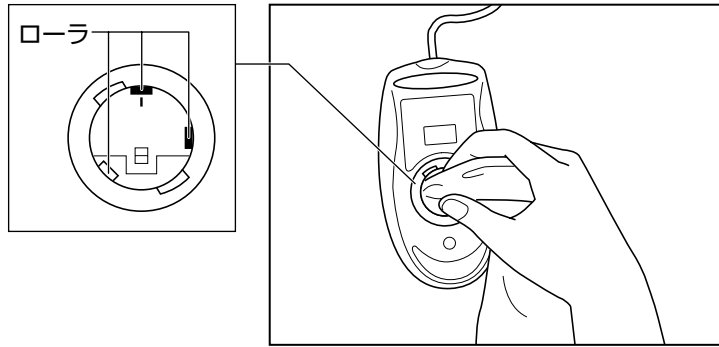
- 本体の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水を含ませた布で軽く拭き取ってください（ディスプレイ表示画面を除く）。
- ベンジンやシンナー、その他の薬品類を使うと変形または変色することがあります。また殺虫剤などをかけないようにしてください。
- 梱包箱を保管しておくとう輸送などに使用でき便利です。
- 移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
- CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブは、市販のクリーナを使用しないでください。
- 電源ケーブルのプラグを長期間 AC コンセントに接続したままにすると、プラグやコンセントにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。
- キーボードのキーの下やすきまに入ったほこりやゴミなどは、掃除機などで吸い出してください。
- マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

①パソコン本体の電源を切ってください。

②マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



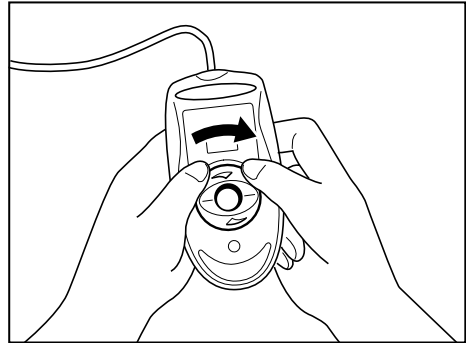
③マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



④ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。

⑤乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。

⑥ボール固定用のフタを、矢印方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



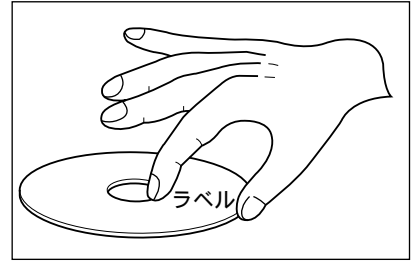
・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

お願い

● CDの取り扱い

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。
- CDを直射日光が当たる場所や、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。
- CDは専用のケースに入れ、保管してください。
- CDを持つときは、外側の溝か、中央の穴の場所を持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。



- CDの表面に文字などを書かないでください。
 - CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布で拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。
- ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

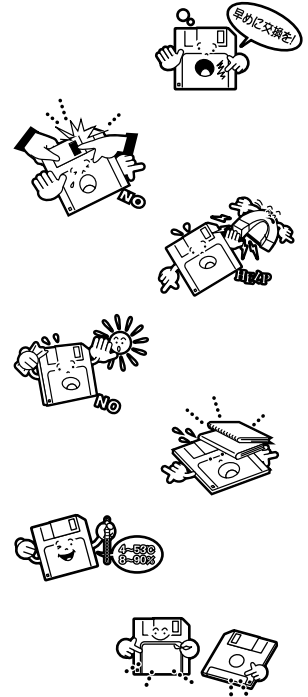
● フロッピーディスクの取り扱い

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。

フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- シャッター部は開けないでください。また、磁性面には触れないでください。磁性面が汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。記録した内容が消失するおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に載せないでください。
- 次の範囲内の環境で保管してください。
 - 保管温度 4～53℃
 - 保管湿度 8～90%Rh
- ラベルは正しい位置に貼ってください。貼りかえるときは重ね貼りしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかつたり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。



製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

● 妨害電波・電圧について

本装置はVCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）基準に適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
- テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える。
- テレビ、ラジオから離す。
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
- 受信機に屋外アンテナを使う。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える。
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

以上のような対策を行なってみてもまったく効果がない場合は、お近くのサービスステーションへご相談ください。

VCCIマークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出る場合がありますのでご注意ください。

● 修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションまたはお買いあげの販売店にご相談ください。

② 内蔵バッテリーの交換

このバッテリーは時計およびシステム構成情報（BIOS セットアップの設定内容）を保持するためのものです。内蔵バッテリーを交換する（取りはずす）と、BIOS セットアップの再設定を行う必要があります。

通常の使用環境では、バッテリーの寿命は約3年です。

バッテリーが寿命に達すると、次のメッセージが表示されますので手順に従って交換を行なってください。

CMOS Checksum Bad



- 注意** ・本装置の内蔵バッテリーには、リチウム電池が使われています。リチウム電池の取り扱いについては、次のことを必ずお守りください。
- ・取り扱いを誤ると、発熱、破裂、発火、中毒、やけどなどの危険があります。
 - ・充電、電極除去、分解をしない
 - ・100℃以上の加熱、焼却をしない
 - ・電池は水にぬらさない
 - ・子供が飲み込んだりしないよう、十分注意する
 - ・電池の内部の液がもれたときは、液にふれない
- リチウム電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例、または規則に従ってください。



お願い

・電池を取りはずすと、システム構成情報（BIOS セットアップでの設定）が失われます。あらかじめシステム構成情報を控えておき、電池を交換した後で設定し直してください。

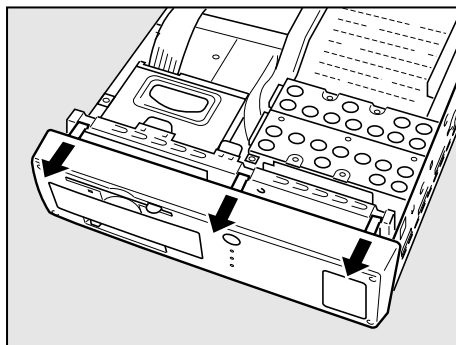
☞ 「7章 BIOS セットアップについて」

・本装置に使用できる内蔵バッテリーはCR2032 リチウム電池です。交換の際は、市販のCR2032 リチウム電池をお買い求めのうえ、ご使用ください。

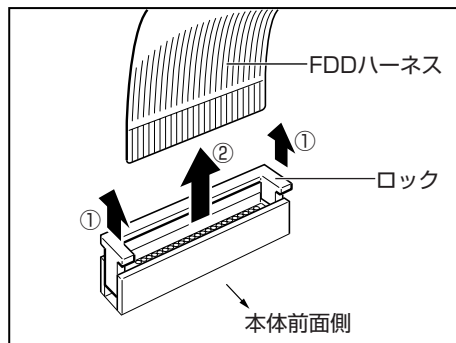
バッテリーの交換は必ず次の手順に従ってください。

- 1 「3章 5 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する
- 2 パソコン本体の電源を切る
- 3 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る
- 4 電源コンセントから電源コードのプラグを引き抜き、アース線を取りはずす
- 5 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器を取りはずす
- 6 本体カバーを取りはずす
☞ 「3章 6 本体カバーの取りはずし／取り付け」
- 7 フロントベゼルを手前に引いて取りはずす

フロントベゼルは、上下3箇所ずつのツメで本体と固定しています。取りはずすときは、ツメを折らないように注意してください。

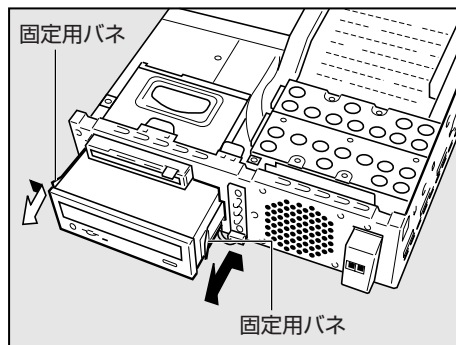


- 8** フロッピーディスクドライブ背面にある FDD コネクタのロックを引き上げて①、FDD ハーネスを取りはずす②



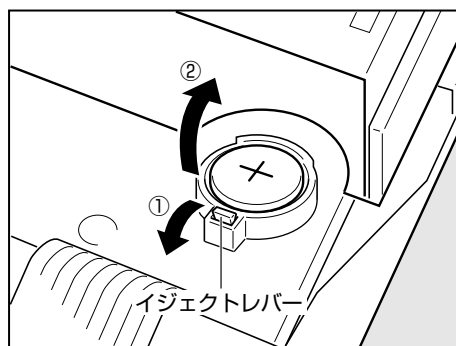
- 9** CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブの左右の固定用バネを押しながら、手前に 5cm ほど引く

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブに接続されているケーブルを無理に引っ張らないように注意してください。



- 10** バッテリーの位置を確認し、イジェクトレバーを押す①

バッテリーが少し浮き上がります②。
イジェクトレバーが押しにくいときは、マイナスドライバーを引っかけてバッテリーを取りはずしてください。



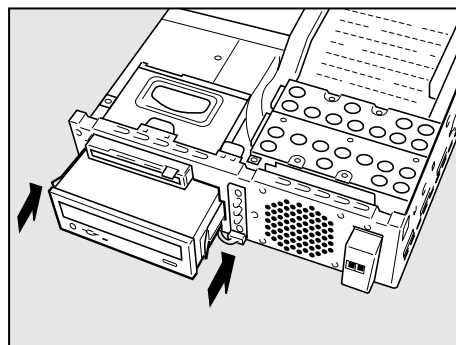
- 11** 新しいバッテリーの (+) 側を上にして取り付ける



お願い

・バッテリーの極性 (+、-) を間違えないように取り付けてください。
+側は、「+」マークや「CR2032」と表示されている側です。

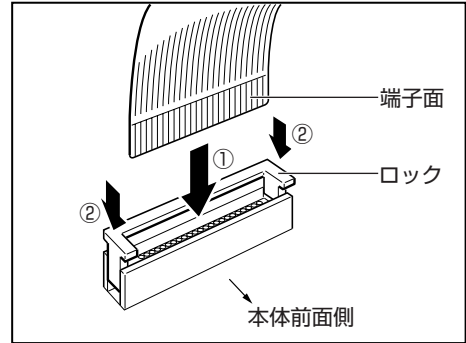
- 12** CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブをパチンと音がするまで押して本体に取り付ける



13 FDD ハーネスを FDD コネクタに接続する

FDD ハーネスを、フロッピーディスクドライブ背面にある FDD コネクタに差し込み①、ロックを下に押し下ろします②。

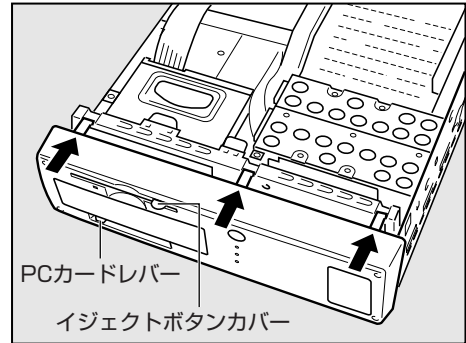
このとき、FDD ハーネスの端子面が本体前面側にくるように、差し込んでください。



注意 ・FDD ハーネスの差し込みが不十分の場合、本体が正常に起動しない、または故障の原因となります。ハーネスをしっかりと差し込んだ後、確実にロックしてください。

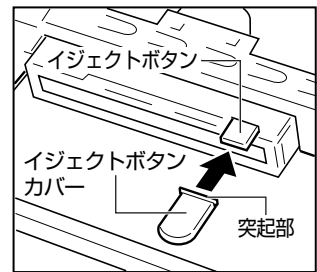
14 フロントベゼルを取り付ける

PC カードレバーとフロッピーディスクドライブのイジェクトボタンカバーが、フロントベゼルの位置と合うようにして取り付けてください。



メモ

・フロントベゼルからフロッピーディスクドライブのイジェクトボタンカバーがとれてしまったときは、図のようにして、カバー根元の突起部を上向きにしてフロッピーディスクドライブのイジェクトボタンに取り付け、フロントベゼルを取り付けてください。



15 本体カバーを取り付ける

☞ 「3章 6 本体カバーの取りはずし／取り付け」



お願い

・再起動後、BIOS セットアップを起動し、再設定してください。

☞ BIOS セットアップについて ☞ 「7章 BIOS セットアップについて」

5

リカバリ CD / カスタム ・リカバリ CD の使いかた

Windows 2000 モデルにはリカバリ CD が同梱されています。
Windows 98 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。
本章では、リカバリ CD およびカスタム・リカバリ CD の
使いかたについて説明します。

- 1** リカバリ CD / カスタム・リカバリ CD とは 94
- 2** 標準システムを復元する 95
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 モデル) 101
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 モデル) 104

① リカバリCD/カスタム・リカバリCDとは

① リカバリCDとは (Windows 2000モデル)

Windows 2000モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCDは何らかの障害によって、ハードディスクの内容が壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000モデルには、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCDは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法についてはアプリケーションCDをCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットし、表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・リカバリCD/アプリケーションCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することは出来ません。

② カスタム・リカバリCDとは (Windows 98モデル)

Windows 98モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。

- Product Recovery CD-ROM
- アプリケーション & ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCDは、何らかの障害によってハードディスクの内容が壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。復元するには、次の方法があります。

● 標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているデバイスドライバやアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

● 最小構成でシステムを復元する

Windowsのみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされませんので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98モデル)」

● アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

① 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）



Microsoft Office^(*) がプレインストールされているパソコンの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

- Microsoft[®] Office XP Personal CD-ROM
- Microsoft[®] Bookshelf[®] Basic CD-ROM

(*) Microsoft[®] Office XP Personal および Microsoft[®] Bookshelf[®] Basic

② 操作手順

● Windows 2000 モデルの場合

-  **注意** ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
- ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。
-  BIOS セットアップについて ⇨ [7章 BIOS セットアップについて]



メモ

- ・ご購入時の状態でシステムを復元した場合、工場出荷時のパーティション設定は、全領域が C ドライブ (NTFS) に設定されています。

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットする

3 パソコンを再起動する

「復元を開始します！ よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

5 章

リカバリCD / カスタム
・リカバリCDの使いかた

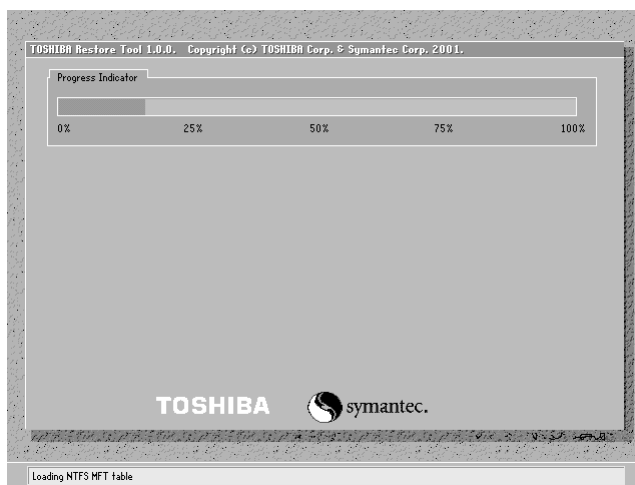
4 復元を行う場合は[Y]キーを、行わない場合は[N]キーを押す

[Y]キーを押すと、「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

5 復元を続行する場合は[Y]キーを、復元を中止する場合は[N]キーを押す

復元中は、次の画面が表示されます。

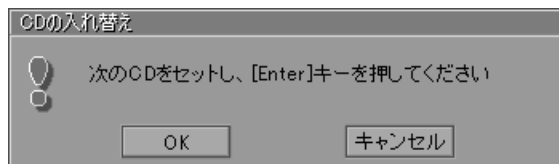
復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところまで達し、もう1度グラフ表示が100%に達すると完了です。



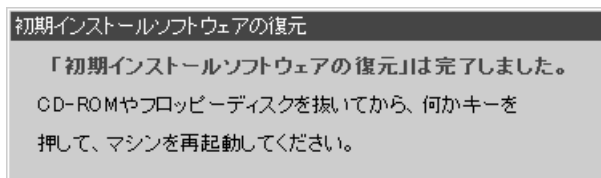
6 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合、CDを入れ替え、[Enter]キーを押してください。

処理が続きます。



復元の進行状況を示すグラフ表示が100%に達し、次の画面が表示されたら完了です。



7 CDを取り出し、キーを押す

システムが再起動します。

8 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ⇨ 「1章4 初めて電源を入れるときは」

Microsoft Office^(*) のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office^(*) は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(*) Microsoft[®] Office XP Personal および Microsoft[®] Bookshelf[®] Basic

Windows 98 モデルの場合



注意

・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

BIOS セットアップについて → 「7章 BIOS セットアップについて」

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」 をセットする

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

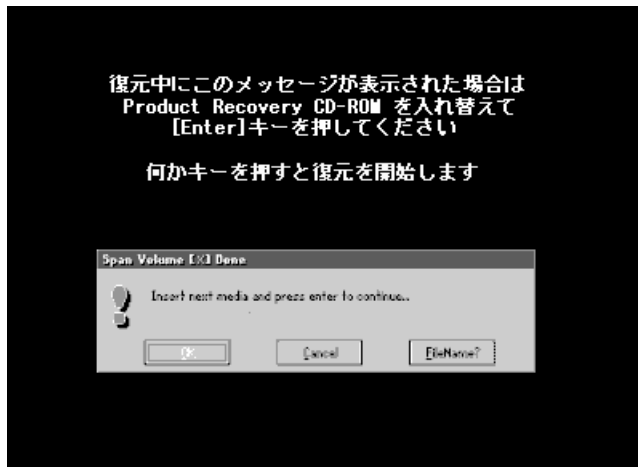
4 [1]キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



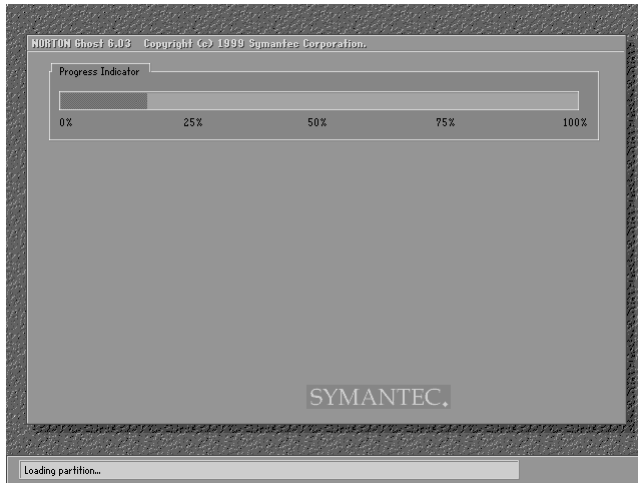
ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。



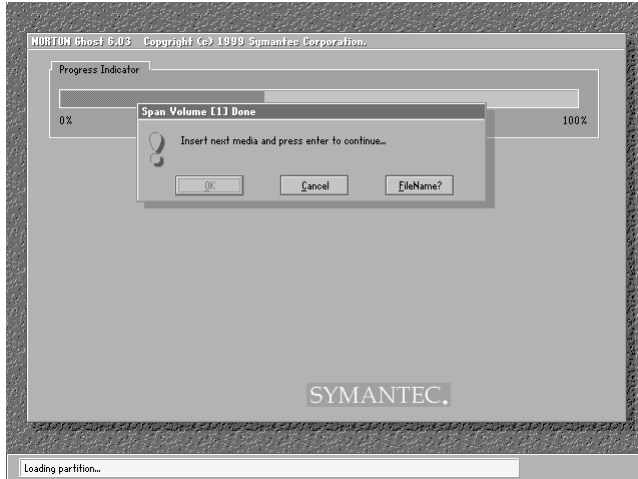
7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



復元の進行状況を示すグラフ表示が100%に達し、次の画面が表示されたら完了です。

初期インストールソフトウェアの復元

「初期インストールソフトウェアの復元」は完了しました。

CD-ROMやフロッピーディスクを抜いてから、何かキーを押して、マシンを再起動してください。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、もう1度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ☞ 「1章 4 初めて電源を入れるときは」

Microsoft Office^(*)のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office^(*)は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(*) Microsoft[®] Office XP Personal および Microsoft[®] Bookshelf[®] Basic

3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98モデル)

Windows 98 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション&ドライバCD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。



メモ

- ・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。
- ・最小構成で復元した場合は、デバイスドライバやアプリケーションはインストールされません。本製品の機能をすべてご利用になるには、「アプリケーション&ドライバCD-ROM」から、デバイスドライバなどをインストールする必要がありますので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
- ・最小構成で復元した場合は、Windows のセットアップの画面が、パソコンご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

また、Windows セットアップ時に Product Key の入力が必要です。Product Key はパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

2 操作手順



注意

- ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device]、[2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。
☞ BIOS セットアップについて ☞ 「7章 BIOS セットアップについて」

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

5 章

リカバリCD / カスタム
・リカバリCDの使いかた

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」 をセットする

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

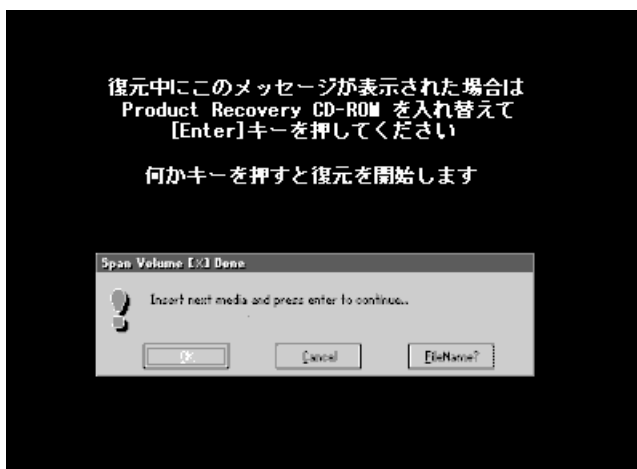
4 [Enter]キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



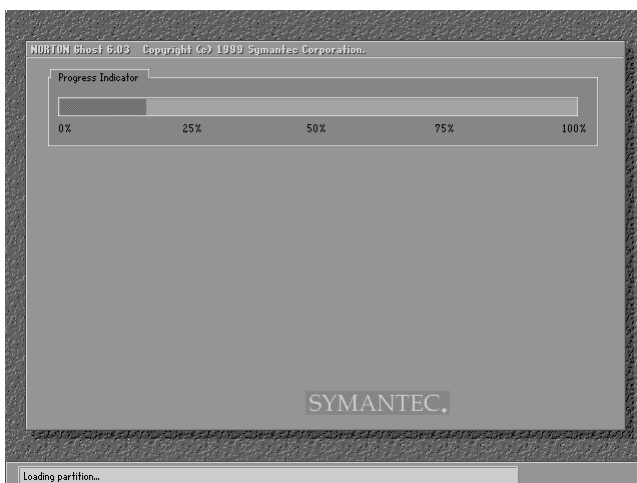
ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。



・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

メモ

復元中は、次の画面が表示されます。



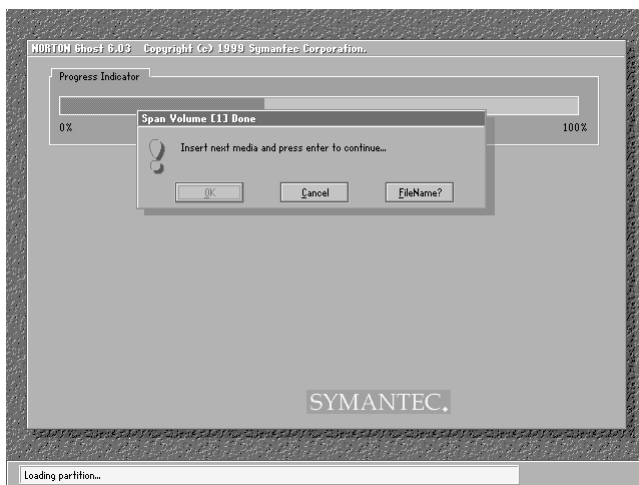
7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



復元の進行状況を示すグラフ表示が100%に達し、次の画面が表示されたら完了です。

初期インストールソフトウェアの復元

「初期インストールソフトウェアの復元」は完了しました。
CD-ROMやフロッピーディスクを抜いてから、何かキーを
押して、マシンを再起動してください。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、もう1度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

9 Windowsのセットアップを行う

「最小構成の復元」画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。
読み終わったら、何かキーを押してください。

Windowsのセットアップが開始されます。

画面に従って、Windowsのセットアップを行なってください。

4

アプリケーションを再インストールする(Windows 98モデル)

Windows 98モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

6

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときのQ&A	106
----------	-----------------	-----



1 困ったときのQ&A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、各システムのマニュアルを参照してください。

アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

● 電源が入らない	106
● エラーメッセージが表示される	107
● 画面の表示がおかしい	107
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない	108
● マウスの操作ができない	109
● フロッピーディスクドライブが使えない	109
● フロッピーディスクが使えない	109
● アプリケーションソフトが使えない	110
● ハードディスクドライブが使えない	111
● CD-ROM ドライブ / CD-R/RW ドライブが使えない	111
● PC カードが使えない	112
● サウンドが鳴らない	112
● 印刷できない	113
● テレビ、ラジオに障害が出る	113
● 省電力機能が正常に動作しない	114
● 異常や故障の場合	114
● どうしてもわからない場合	114

● 電源が入らない

状 況 ● 本体の電源が入らない

確認 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？

対処 ● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

確認 電源ランプは点灯していますか？

対処 ● 電源スイッチを押してください。

確認 電源コンセントに電源が通じていますか？

対処 ● 電源の通じている電源コンセントに差ししてください。

● エラーメッセージが表示される

状況 ● 起動時にエラーメッセージが表示される

確認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを抜き出してから、再起動してください。

確認 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

対処 ● 電源を切ってから5秒以上待って電源を入れてください。

状況 ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

対処 ● アプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

状況 ● 「CMOS Checksum Bad」というエラーメッセージが表示される

確認 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

対処 ● 内蔵バッテリーを交換してください。
☞ [4章 2 内蔵バッテリーの交換]

● 画面の表示がおかしい

状況 ● 画面に何も映らない

確認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対処 ● 電源を入れてください。

確認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対処 ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対処 ● 信号ケーブルの固定用ネジにゆるみがないように正しく接続してください。

確認 表示自動停止機能が働いていませんか？

対処 ● [Shift] キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確認 USB 機器は接続していますか？

対処 ● 接続されているUSB機器によっては、USB機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてからUSB機器の電源を入れてください。

状況 ●画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置などが異常である

確認 ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対処 ●輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。
☞『ディスプレイに付属の説明書』

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行ないましたか？

対処 ●電源をご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。
また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

状況 ●キーボードから入力できない

確認 キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？

対処 ●キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。


状況 ●どのキーを押しても反応しない

対処 ●電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

状況 ●電源を入れ直しても反応しない

対処 ●**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]** キーを押してください。

状況 ●半角の「～」（チルダ）が入力できない

対処 ●**[Shift]+[** キーを押してください。

状況 ●希望の文字が入力できない

対処 ●キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

● マウスの操作ができない

状況 ● マウスを操作しても反応しない

確認 マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

対処 ● マウスをマウスコネクタに接続してください。

● フロッピーディスクドライブが使えない

状況 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットし、**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]**キーを押しても、システムが再起動しない

確認 システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

対処 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

確認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対処 ● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう一度挿入し直してください。
どうしてもフロッピーディスクドライブが使えない場合は、フロッピーディスクドライブが故障しているおそれがあります。お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションへご連絡ください。

状況 ● FDD アクセスランプが消えない

対処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]**キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみて、それでもFDDアクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● フロッピーディスクが使えない

状況 ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ⇨ 「3章 4 フロッピーディスクドライブ」

状況 ●「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確認 フォルダは作成されていますか？

対処 ●フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状況 ●「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

対処 ●不要なファイルを削除して、やり直してください。
●別のフロッピーディスクを使用してください。

状況 ●フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージ画面が表示される

対処 ●[キャンセル] ボタンをクリックして画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう1度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

状況 ●フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブAのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージ画面が表示される

確認 フロッピーディスクはフォーマットされていますか？

対処 ●フロッピーディスクがフォーマットされている場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてメッセージ画面を閉じた後、フロッピーディスクを挿入し直して、もう1度アクセスを行ってください。
●フロッピーディスクがフォーマットされていない場合、書き込み（データの保存）ができません。このままフォーマットをする場合は、[[はい] ボタンをクリックしてください。

● アプリケーションソフトが使えない

状況 ●アプリケーションソフトが思うように動かない

確認 システム構成は正しく設定されていますか？

対処 ●アプリケーションソフトのマニュアルを読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状況 ●アプリケーションソフトが動かない

確認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？

対処 ●システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

● ハードディスクドライブが使えない

状況 ● データの読み／書きができない



● 故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブが使えない

※内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

状況 ● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにアクセスできない

確認

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイはきちんとしまっていますか？



● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイを正しく格納してください。

確認

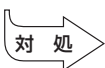
CD がきちんとセットされていますか？



● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を右（本体が横置きの場合には上）にして、CD をセットしてください。

確認

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイに異物がありますか？



● 何かはさまっていたら取り除いてください。

確認

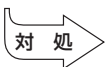
CD が汚れていませんか？



● 水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確認

対応していないフォーマットの CD-ROM をセットしていませんか？



● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが対応しているフォーマットの CD-ROM をセットしてください。

☎ [3章 2 CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブ]

状況 ● CD が取り出せない

確認

電源が切れていませんか？



● 電源を入れてから、CD を取り出してください。

● PCカードが使えない

状況 ● PCカードの挿入が認識されない

確認 PCカードが奥までしっかり差し込まれていますか？

対処 ● イジェクトボタンが出てくるまで差し込んでください。
☞ PCカードの取り付け ☞ 「3章 3 PCカード」

状況 ● MS-DOS 上で使用できない

対処 ● 本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS 上で PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。

状況 ● デバイスとして認識されるが使用できない

確認 IRQ が不足していませんか？

対処 ● 使用しないデバイスを使用不可にしてください。

< Windows 2000 の場合 >

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] をクリックする
- ③ + をクリックし、使用しないデバイスを右クリックする
- ④ 表示されるメニューの [無効] をクリックする
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする

< Windows 98 の場合 >

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] タブで使用しないデバイスを使用不可にする
- ③ [適用] ボタンをクリックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

● サウンドが鳴らない

状況 ● 音楽用 CD や WAV ファイルを再生しても、音が出ない

確認 ボリュームが下がっていませんか？

対処 ● タスクトレイの音量アイコンをダブルクリックして、音量を確認してください。

確認 外部スピーカが接続されていますか？

対処 ● 本体背面の LINE OUT 端子に外部スピーカ（別売り）が正しく接続されている場合は、本体の内蔵スピーカからは音が出ません。外部スピーカが正しく接続されているかを確認してください。

印刷できない

状況 ● 本体に接続したプリンタが動作しない

確認 プリンタの電源は入っていますか？

対処 ● 本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

確認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？

対処 ● 正しく接続してください。

状況 ● 画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

確認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？

対処 ● アプリケーションソフト上、または Windows のプリンタ設定で正しく設定し直してください。
☞ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』

確認 BIOS セットアップでのパラレルモード設定は合っていますか？

対処 ● BIOS セットアップの [Advanced] - [PERIPHERAL SETUP] の [Parallel Port Mode] をお使いのプリンタに合わせて設定してください。
☞ 『プリンタに付属の説明書』

テレビ、ラジオに障害が出る

状況 ● テレビ、ラジオの調子がおかしい

確認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？

対処

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。
- 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

● 省電力機能が正常に動作しない

状況 ● 省電力機能が正常に動作しない

確認 市販のPCIカード、PCカードやUSB機器を使用していますか？



対処

- PCIカード、PCカードやUSB機器の種類によっては、省電力機能が正常に動作しない場合があります。
BIOSセットアップを起動し、[Advanced] - [POWER MANAGEMENT SETUP] の [ACPI Standby State] を [S1/POS] に設定してください。
☞ BIOSセットアップ ☞ 「7章 BIOSセットアップについて」
- Windows上の省電力機能を使用しないでください。
☞ 省電力機能について ☞ 「2章 3 省電力機能について」

● 異常や故障の場合

状況 ● 異常な臭いや過熱に気がついた



対処

- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 次のところに連絡してください。
 - ・ お買い上げの販売店それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。
 - ・ 使用している機器の名称
 - ・ ご購入年月日
 - ・ 現在の状態できるだけ詳細にご連絡ください。

● どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、同梱の『ユーザサポート窓口のご案内』をご覧のうえ、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

7

BIOS セットアップについて

本章では、BIOS セットアッププログラムの機能と工場出荷時の設定について説明します。

1	BIOS セットアップとは.....	116
2	工場出荷時の設定値	120
3	Main メニューの詳細	122
4	Advanced メニューの詳細	124
5	Security メニューの詳細	135
6	Exit メニューの詳細	137

① BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使いかたなどを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設などの変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗または電池交換を行なった場合は、BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



メモ

・ BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での項目／説明の表示はありません。

① BIOS セットアップの起動方法

1 電源を入れた直後（起動時）に **Delete** キーを押し続ける

起動時に、次の「TOSHIBA」画面が表示された後、セットアップ画面が表示されます。セットアップ画面が表示されたら **Delete** キーを離してください。



お願い

・ **Delete** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に **Delete** キーを押し続けないと、システムが起動します。

BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行なって、パソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。

In Touch with Tomorrow
TOSHIBA

Press [Tab] to POST screen, [Del] to enter SETUP

② BIOS セットアップの操作方法

● BIOS セットアップ画面について

BIOS セットアップを起動すると Main メニューが表示されます。

白または青文字で表示されている項目は、設定値を変更することができます。
灰色に表示されている項目は、変更できない状態です。
設定値を変更するには、項目上にカーソルを移動して [Enter] キーを押し、[Option] メニューから設定値を選んで [Enter] キーを押します。

現在開いているメニューが白文字で表示されます。メニューを移動するには ← → キーを押します。

選択している項目は白文字で表示されます。

選択している項目の説明が表示されます。

```
AMIBIOS EASY SETUP UTILITY Ver. 1.32T
(C)2000 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved

Main  Advanced  Security  Exit

System Data  XXX XXX XX XXXX
System Time  XX:XX:XX XX

Floppy Drive A  1.44 MB 3 1/2
Floppy Drive B  Not Installd

Primary IDE Master  Auto
Primary IDE Slave   Not Installed
Secondary IDE Mater  Auto
Secondary IDE Slave  Not Installed

Auto-Detect Hard Disks  [ Enter ]

Boot Sector Virus Protection  Disabled

<<< Setup Help >>>
Month: Jan - Dec
Day: 01 - 31
Year: 1980 - 2099

↑ Previous Item
↓ Next Item
<-> Select Menu

Esc :Exit  Enter :Select  F5 :Setup Defaults  F6 :Original Values  F10 :Save & Exit
```

[Enter] の表示がある項目は、サブメニューがあることを示します。サブメニューを表示するには、[Enter] キーを押します。サブメニューから 1 つ前のメニューに戻るには、[Esc] キーを押します。

● 使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できないため、キーボード上のメニューや項目の移動、値の入力などを行います。

ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

● ↑、← キー

1 つ前の項目に移動します。

● ↓、+ キー

1 つ先の項目に移動します。

● ← キー

左のメニューに移動します。

● → キー

右のメニューに移動します。

● F5 キー

BIOS セットアップの既定値を呼び出します。

F5キーを押すと「Load high performance settings」というメッセージが表示されます。設定を既定値に戻す場合はEnterキーを、戻さないでセットアップを続ける場合はEscキーを押します。

● F6 キー

最後に保存された設定値に戻します。

F6キーを押すと「Load setup original values」というメッセージが表示されます。設定を元に戻す場合はEnterキーを、戻さないでセットアップを続ける場合はEscキーを押します。

● Enter キー

メニューで選択したサブメニューを表示します。

● F10 キー

Mainメニューで現在の設定を保存し（CMOS-RAMに書き込み）、BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。

F10キーを押すと「Save current settings and exit」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合はEnterキーを、保存しないでセットアップを続ける場合はEscキーを押します。

● Esc キー

Mainメニューでは、設定を保存せずに終了する画面が表示されます。サブメニューでは、Mainメニューに戻ります。

Escキーを押すと「Quit without saving changes」というメッセージが表示されます。設定を保存せずに終了する場合はEnterキーを、セットアップを続ける場合はEscキーを押します。

3 BIOS セットアップの内容

BIOS セットアップは、4つのメニューとその下に続くサブメニューから構成されています。

- Main

日付や時間、ドライブ類の設定を行います。

- Advanced

チップセット、パワーマネージメント、プラグ アンド プレイ、周辺機器などに関する設定を行います。

- Security

管理者、またはユーザのパスワードを設定します。

- Exit

設定した内容の保存、呼び出しを行います。

なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

2 工場出荷時の設定値

- 1 BIOS セットアップを起動する
BIOS セットアップの起動方法 ⇨ 「本章 1-1 BIOS セットアップの起動方法」
- 2 [Exit] メニューより「Load Setup Default Settings」を選択し、
[Enter] キーを押す
「Load Setup Default settings」と表示されます。
- 3 [F10] キーを押す
「Save current settings and exit」と表示されます。
- 4 [Enter] キーを押す
変更した設定を保存して終了します。
[Security] メニュー、[Exit] メニューには工場出荷時の設定値はありません。

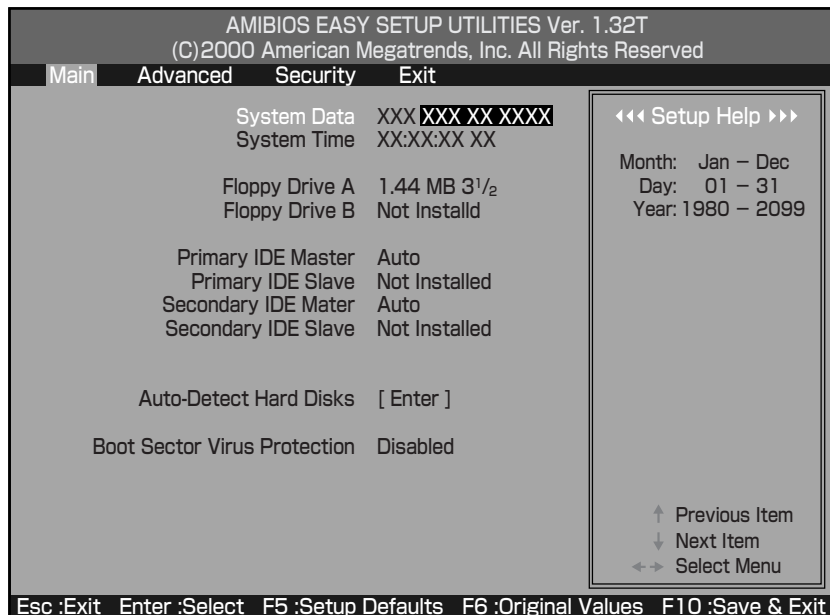
● Main メニュー

Mainメニューの項目		工場出荷時設定
System Date		—
System Time		—
Floppy Drive A		1.44MB 3 ¹ / ₂
Floppy Drive B		Not Installed
Primary IDE Master	IDE Device Configuration	Auto
	32Bit Transfer Mode	Off
Primary IDE Slave	IDE Device Configuration	Not Installed
	32Bit Transfer Mode	—
Secondary IDE Master	IDE Device Configuration	Auto
	32Bit Transfer Mode	Off
Secondary IDE Slave	IDE Device Configuration	Not Installed
	32Bit Transfer Mode	—
Auto-Detect Hard Disks		—
Boot Sector Virus Protection		Disabled

Advancedメニュー

Advancedメニューの項目		工場出荷時設定
Advanced CMOS Setup	Quick Boot	Enabled
	1st Boot Device	Floppy
	2nd Boot Device	CDROM
	3rd Boot Device	IDE-0
	Initial Display Mode	Silent
	S.M.A.R.T. for Hard Disks	Enabled
	System Keyboard	Present
	Password Check	Setup
	Wait For 'F1' If Error	Enabled
	CPU Serial Number	Disabled
Advanced Chipset Setup	CPU Ratio Selection	Locked
	USB Device Legacy Support	Disabled
	Primary Graphics Adapter	Internal
	Internal Graphics Mode Select	Enabled
Power Management Setup	ACPI Standby State	S3/STR
	USB Keyboard Wakeup From S3	Disabled
	Power Management/APM	Enabled
	Primary Master IDE	Monitor
	Secondary Master IDE Access	Monitor
	Power Button Function	On/Off
	Restore on AC/Power Loss	Power Off
	Resume On Ring	Disabled
	LAN Resume From Soft Off	Disabled
	PME Function Support	Disabled
	Resume On RTC Alarm	Disabled
	Alarm Date	15
	Alarm Hour	12
	Alarm Minute	30
Alarm Second	30	
Plug and Play Setup	Plug and Play Aware O/S	Yes
	Clear NVRAM	No
	Reserved Memory Size	Disabled
	Reserved Memory Address	C8000
Peripheral Setup	AC'97 Audio Controller	Enabled
	OnBoard Serial PortA	3F8/COM1
	OnBoard Parallel Port	378h
	Parallel Port Mode	ECP
	Parallel Port IRQ	7
	Parallel Port DMA Channel	3
	Mouse PowerOn Function	Disabled
Keyboard PowerOn Function	Disabled	

日付の設定、フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブの設定などを行います。



System Date

年（西暦）月日を設定します。

[月/日/年]の項目移動には、、キーを使います。

値の変更は、、キーを使います。

System Time

時刻を設定します。

[時:分:秒]の項目移動には、、キーを使います。

値の変更は、、キーを使います。

Floppy Drive A | Floppy Drive B

接続しているフロッピーディスクドライブのタイプを設定します。

本装置は標準で、ドライブ A に [1.44MB 3 1/2] タイプのフロッピーディスクドライブを搭載しています。

- ・ Not Installed..... 接続されていない
- ・ 360KB 5 1/4 5 型 360KB フロッピーディスクドライブ
- ・ 1.2MB 5 1/4 5 型 1.2MB フロッピーディスクドライブ
- ・ 720KB 3 1/2 3.5 型 720KB フロッピーディスクドライブ
- ・ 1.44MB 3 1/2 3.5 型 1.44MB フロッピーディスクドライブ
- ・ 2.88MB 3 1/2 3.5 型 2.88MB フロッピーディスクドライブ

Primary IDE Master | Primary IDE Slave

Secondary IDE Master | Secondary IDE Slave

IDE インタフェース上のドライブを設定します。

- ・ Primary IDE Masterメインボード上の第 1 (Primary) IDE インタフェースのマスタ (Master)
- ・ Primary IDE Slaveメインボード上の第 1 (Primary) IDE インタフェースのスレーブ (Slave)
- ・ Secondary IDE Master ..メインボード上の第 2 (Secondary) IDE インタフェースのマスタ (Master)
- ・ Secondary IDE Slave ...メインボード上の第 2 (Secondary) IDE インタフェースのスレーブ (Slave)

本装置は、標準状態でハードディスクドライブが [Primary IDE Master] に、CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが [Secondary IDE Master] に設定されています。

[Enter] キーを押すと、次の項目が表示されます。

▼ IDE Device Configuration

IDE ドライブのタイプを設定します。

- ・ Not Installed 接続されていない
- ・ 01 ~ 46 HDD のパラメータを選択することができます
- ・ User HDD パラメータを設定することができます
- ・ Auto 自動設定
- ・ CDROM CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブ
- ・ Floptical フロッピーディスクドライブ

▼ 32Bit Transfer Mode

ハードディスクドライブへのアクセスを 32Bit で行う機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ On 使用する
- ・ Off 使用しない

Auto-Detect Hard Disks

[Enter] キーを押すと、自動的にすべての IDE ドライブを検出し、パラメータを設定します。

Boot Sector Virus Protection

ハードディスクのブートセクタを書き換えるプログラムやウィルスを発見した場合に警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

- ・ Disabled メッセージを表示しない
- ・ Enabled メッセージを表示する

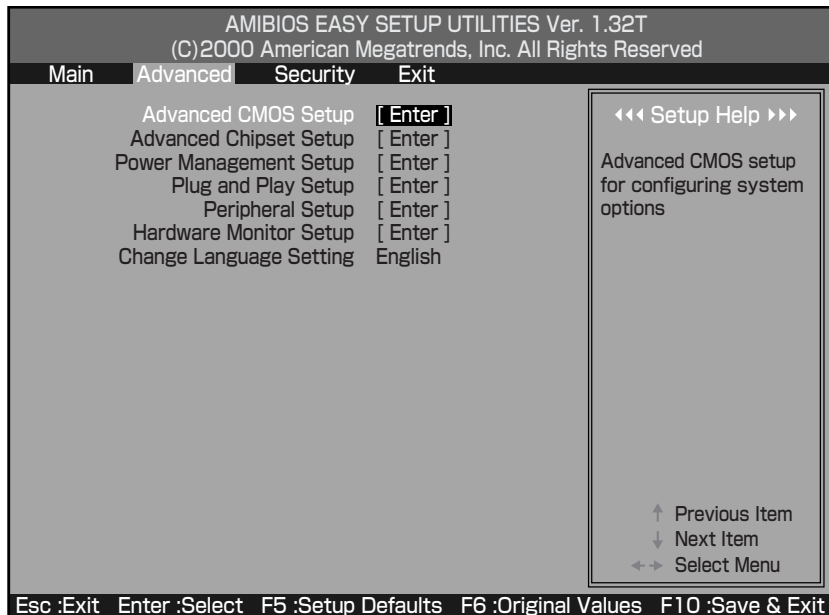


- ・ システム (OS) を再インストールするときに [Enabled] に設定していると、正しくインストールできないことがあるので、一時的に [Disabled] に設定してください。

4

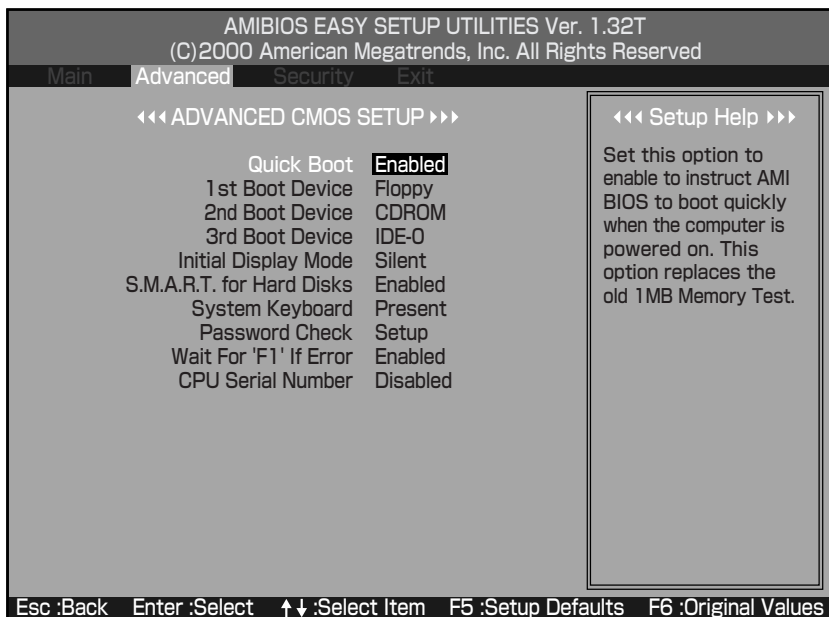
Advanced メニューの詳細

チップセット、パワーマネジメント、プラグアンドプレイ、周辺機器などに関する設定を行います。



それぞれの項目で[Enter]キーを押すと、次のサブメニュー画面が表示されます。

● ADVANCED CMOS SETUP



▼ Quick Boot

システムセルフテストの一部を省略し、パソコンを短時間で起動する設定を有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

▼ 1st Boot Device / 2nd Boot Device / 3rd Boot Device

起動するドライブの順番を指定できます。[1st Boot Device] は起動する際に優先順位が最も高いドライブで、以下 [2nd Boot Device]、[3rd Boot Device] と順位が下がります。また、CD-R/RW ドライブから起動する場合は、[CDROM] を選択します。

- ・ Disabled
- ・ IDE-0
- ・ IDE-1
- ・ IDE-2
- ・ IDE-3
- ・ Floppy
- ・ CDROM
- ・ SCSI
- ・ NETWORK

▼ Initial Display Mode

起動時に TOSHIBA ログ画面を表示するかどうかを設定します。

- ・ BIOS TOSHIBA ログ画面を表示しない
- ・ Silent TOSHIBA ログ画面を表示する

▼ S.M.A.R.T. for Hard Disks

"S.M.A.R.T." は、"Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology" を表します。

ハードディスクドライブの状態を監視し、いくつかの（すべてではなく）障害を予測する機能です。

- ・ Disabled S.M.A.R.T 機能を使用しない
- ・ Enabled S.M.A.R.T 機能を使用する

▼ System Keyboard

起動時にキーボードの有無をチェックします。

- ・ Absent キーボードの有無をチェックしない
- ・ Present キーボードの有無をチェックし、無い場合にエラーメッセージを表示する

▼ Password Check

パソコン本体が起動するたび、もしくは、BIOS のセットアップを起動するたびにパスワードの入力画面を表示するかどうかを設定します。

Security メニューで、パスワードが設定されている場合のみ有効です。

- ・ Setup BIOS のセットアップを起動するたびにパスワード入力画面を表示する
- ・ Always パソコン本体が起動するたびにパスワード入力画面を表示する

▼ Wait For 'F1' If Error

起動時にエラーを検出したときに、確認のために[F1]キーを押すようにする機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

▼ CPU Serial Number

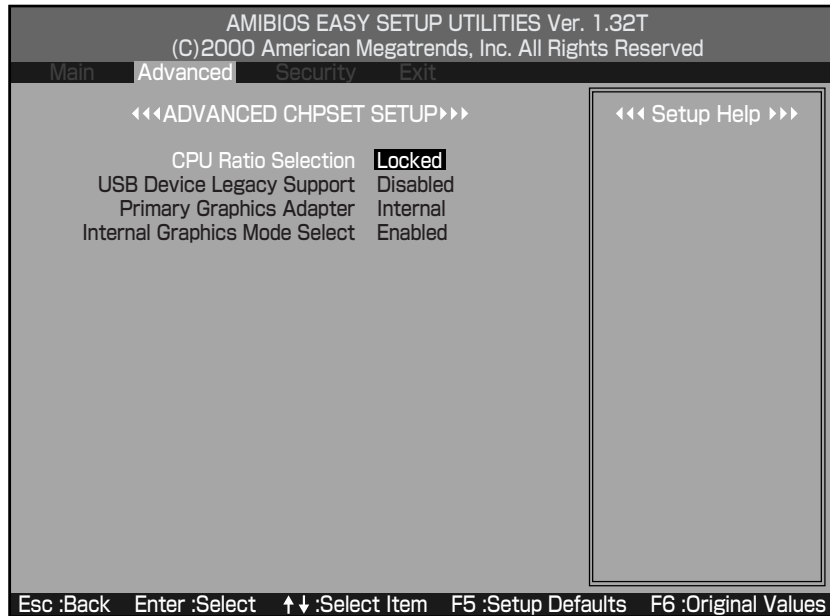
CPU が持っているシリアルナンバ機能を有効にするかどうかを設定します。



・ Celeron モデルでは、この機能は使用できません。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

● ADVANCED CHIPSET SETUP



▼ CPU Ratio Selection

CPUの速度を設定します。本機では使用できません。

▼ USB Device Legacy Support

USB機器を有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

▼ Primary Graphics Adapter

PCIスロットに外付けのグラフィックカードを挿入したときに、プライマリとしてオンボードのグラフィック機能を使用するか外付けのグラフィックカードを使用するかを設定します。

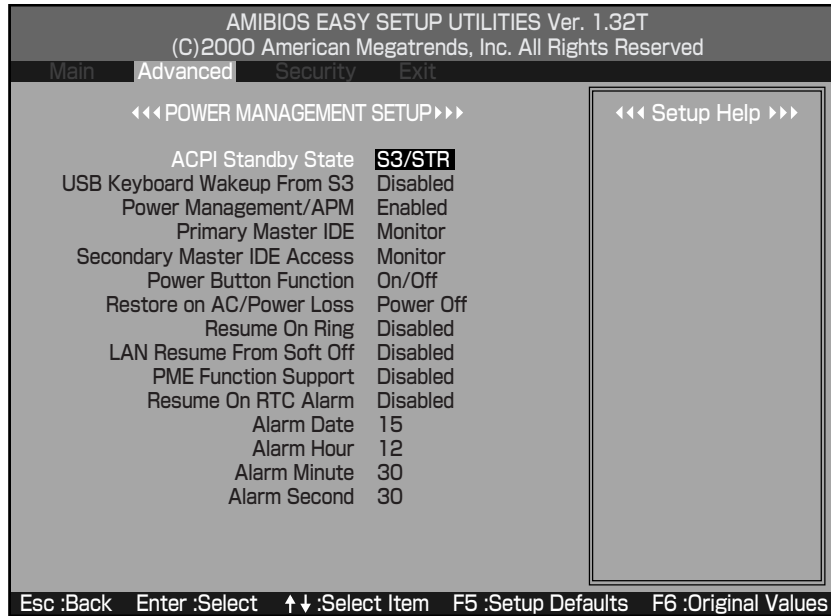
- ・ Internal オンボードのグラフィック機能を使用する
- ・ External PCI PCIスロットに挿入したグラフィックカードを使用する

▼ Internal Graphics Mode Select

[Primary Graphics Adapter] が [External PCI] に設定されている場合に、オンボードのグラフィック機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

POWER MANAGEMENT SETUP



▼ ACPI Standby State

使用する省電力モードの種類を設定します。

- ・ S1/POS Power On Suspend : 周辺デバイスの電源を切断する
- ・ S3/STR Suspend To RAM : メモリ以外の電源を切断する
- ・ Auto 使用する省電力モードを状態により自動的に切り替える



メモ

- ・ 増設するオプションカードやUSB 機器によっては、正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードへ復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、[S1/POS] に設定してください。それでも動作に問題が生じる場合は、省電力機能を使用しない設定に変更してください。

☞ 省電力設定について ☜ 「2章 3 省電力機能について」

▼ USB Keyboard Wakeup From S3

[ACPI Standby State] が [S3/STR] に設定されている場合、USB 接続のキーボードから省電力モード (S3) を解除することを可能にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 可能にしない
- ・ Enabled 可能にする

▼ Power Management/APM

省電力管理および、APM (Advanced Power Management) を有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

▼ Primary Master IDE / Secondary Master IDE Access

ハードディスクドライブ (Primary Master IDE) および CD-ROM ドライブもしくは CD-R/RW ドライブ (Secondary Master IDE) へのアクセスを監視します。アクセスがある場合は、キーボードやマウスが操作されているのと同様に、省電力モードへは移行しません。キーボードやマウスの操作がなく、アクセスもない場合に、省電力機能で設定した時間が経過すると、省電力モードに移行します。

- ・ Ignore 監視しない
- ・ Monitor 監視する

▼ Power Button Function

電源スイッチの用途を設定します (Windows 上では、システム上で設定するため、本設定は無効となります)。

- ・ On/Off 電源スイッチを押すと、電源のオン・オフができる
- ・ Suspend 電源スイッチを押すと、スタンバイモードに移行する



- ・ [Suspend] に設定した場合でも、電源スイッチを 4 秒以上押し続けると、電源が切れます。

▼ Restore on AC/Power Loss

停電などにより電気の供給が止まった場合、電気の供給が再開されたときの電源の状態を決定します。

- ・ Power On 電源を入れる
- ・ Power Off 電源を入れない

▼ Resume On Ring

モデムを接続している状態で、モデムの RI 信号によりシステムの電源を入れる機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

▼ LAN Resume From Soft Off

他のコンピュータからの WOL (Wake On LAN) 信号で、システムの電源を入れる、もしくは省電力モードから通常モードへの復帰を行う機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する



- ・ 内蔵の LAN で WOL 機能を使用する場合には、次の [PME Function Support] の設定を [Enabled] にしてください。
本設定は、PCI の LAN カードを使用する場合に使用します。

▼ PME Function Support

PCI カードからの PME 信号で、システムの電源を入れる、もしくは省電力モードから通常モードへの復帰を行う機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する



・ 内蔵の LAN で WOL 機能を使用する場合には、この設定を [Enabled] にしてください。

▼ Resume On RTC Alarm

内蔵時計でシステムを起動する日時を設定する機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

▼ Alarm Date

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、システムが起動する日を設定できます。

- ・ 1, 2, ..., 31 day システムが起動する日を設定する
- ・ Every Day 毎日起動するように設定する

▼ Alarm Hour

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、システムが起動する時間を設定できます。

- ・ 0, 1, 2, ..., 23 hours システムが起動する時間を設定する

▼ Alarm Minute

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、システムが起動する分を設定できます。

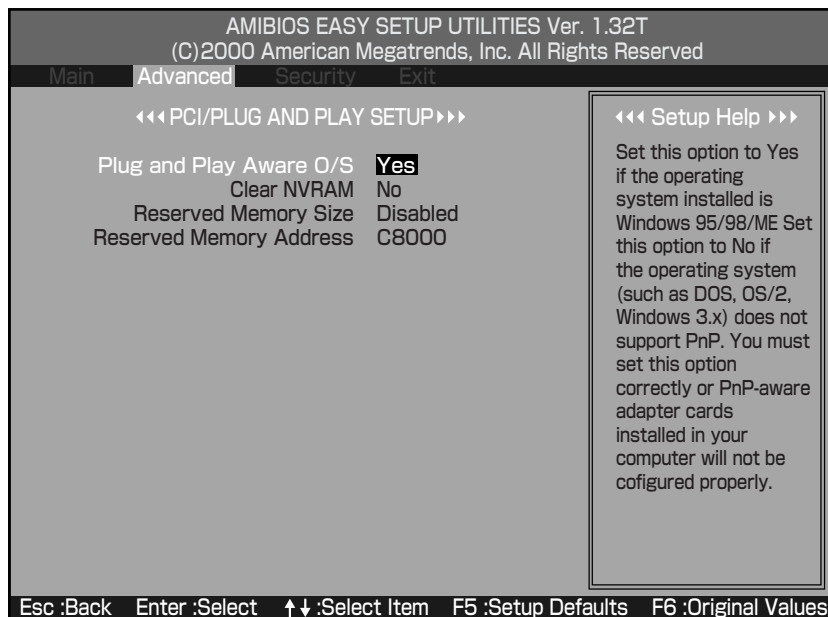
- ・ 0, 1, 2, ..., 59 minutes システムが起動する分を設定する

▼ Alarm Second

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、システムが起動する秒を設定できます。

- ・ 0, 1, 2, ..., 59 seconds ... システムが起動する秒を設定する

● PCI/PLUG AND PLAY SETUP



▼ Plug and Play Aware O/S

プラグ アンド プレイ対応のシステム (OS) かどうかを設定します。

- ・ No プラグ アンド プレイに対応していない OS を使用する
- ・ Yes プラグ アンド プレイに対応している OS を使用する

▼ Clear NVRAM

プラグ アンド プレイの構成情報を NVRAM から消去するかどうかを設定します。

- ・ No 消去しない
- ・ Yes 消去する

▼ Reserved Memory Size

拡張 BIOS を搭載したオプションカードにメモリを割り当てるかどうかを設定します。

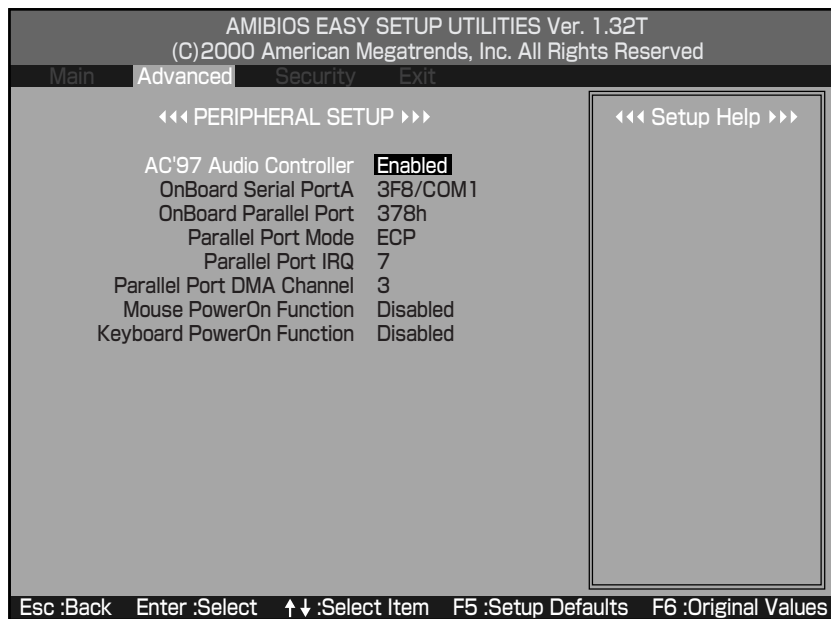
- ・ Disabled 割り当てない
- ・ 16k
- ・ 32k
- ・ 64k

▼ Reserved Memory Address

[Reserved Memory Size] でメモリを割り当てた場合に、メモリのアドレスを指定します。

- ・ C0000
- ・ C4000
- ・ C8000
- ・ CC000
- ・ D0000
- ・ D4000
- ・ D8000
- ・ DC000

● PERIPHERAL SETUP



▼ AC'97 Audio Controller

オンボードのオーディオコントローラを使用するかどうかを設定します。

- ・ Enabled 使用する
- ・ Disabled 使用しない

▼ OnBoard Serial PortA

パソコン本体のシリアルポート A を使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 3F8/COM1
- ・ 2F8/COM2
- ・ 3E8/COM3
- ・ 2E8/COM4

▼ OnBoard Parallel Port

パソコン本体の平行ポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 378h
- ・ 278h
- ・ 3BCh

▼ Parallel Port Mode

平行ポートのモードを設定します。

- ・ Normal
- ・ Bi-Dir
- ・ EPP 1.9
- ・ EPP 1.7
- ・ ECP

▼ Parallel Port IRQ

平行ポートのIRQを設定します。

- ・ 5
- ・ 7

▼ Parallel Port DMA Channel

平行ポートのDMAチャンネルを設定します。

- ・ 0
- ・ 1
- ・ 3

▼ Mouse PowerOn Function

マウスから電源を入れる機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

▼ Keyboard PowerOn Function

キーボードから電源を入れる機能を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

HARDWARE MONITOR SETUP

CPU コア温度や電源の監視状況を確認することができます。

AMIBIOS EASY SETUP UTILITIES Ver. 1.32T
(C)2000 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved

Main | **Advanced** | Security | Exit

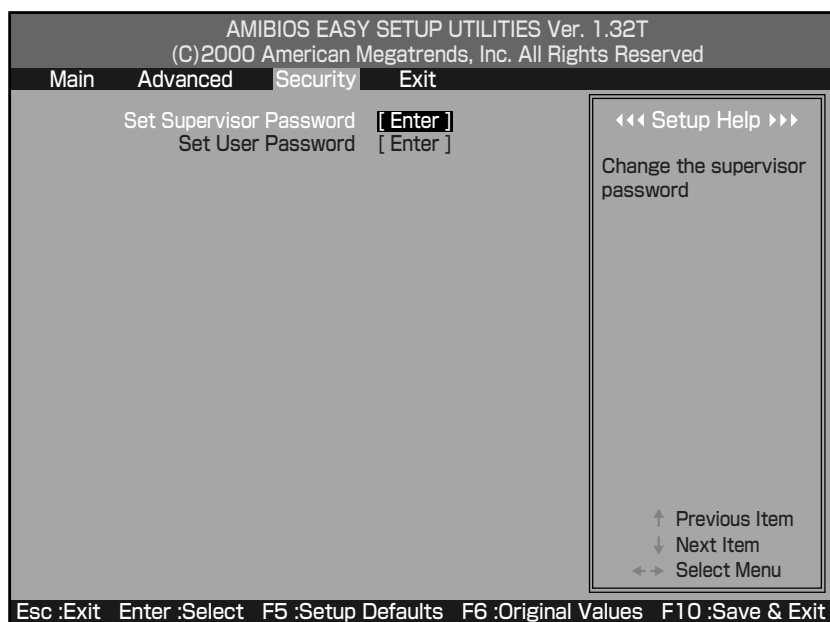
◀◀ HARDWARE MONITOR SETUP ▶▶

◀◀ Setup Help ▶▶

┌ System Hardware Monitor ─┐

CPU Temperature	XX°C/XXX°F
System Temperature	XX°C/XXX°F
Vccp (Processor)	X.XXX V
Vttp (Processor)	X.XXX V
+ 1.8V	X.XXX V
+ 2.5V	X.XXX V
+ 3.3V	X.XXX V
+ 5.0V	X.XXX V
+ 12.0V	X.XXX V
HVCC(+ 3.3VSB)	X.XXX V

Esc :Back Enter :Select ↑↓ :Select Item F5 :Setup Defaults F6 :Original Values



● パスワードの設定

管理者パスワードとユーザパスワードを設定することができます。

パスワードが必要な場合は、パスワードを入力する画面が表示されたときに[Enter]キーを押します。

ユーザパスワードを設定した場合、ユーザパスワードでの起動時にBIOSセットアップにて設定できる項目が制限される場合があります。

キーボードからパスワードを登録することができます。[Supervisor]か[User]を選択すると、BIOSがパスワードを入力するように指示してきます。

ユーザパスワードを設定する前に管理者パスワードを設定しなければなりません。

1文字から6文字までのパスワードを設定します。キーボードから入力しているとき、入力した文字は表示されません。

● パスワードの変更

パスワードを入力し、**[Enter]**キーを押します。新しいパスワードを入力し、すぐに同じ新しいパスワードを再び入力してから**[Enter]**キーを押します。2度目に違うパスワードを入力すると、エラーメッセージが表示されます。

Set Supervisor Password

管理者パスワードの設定および変更を行います。

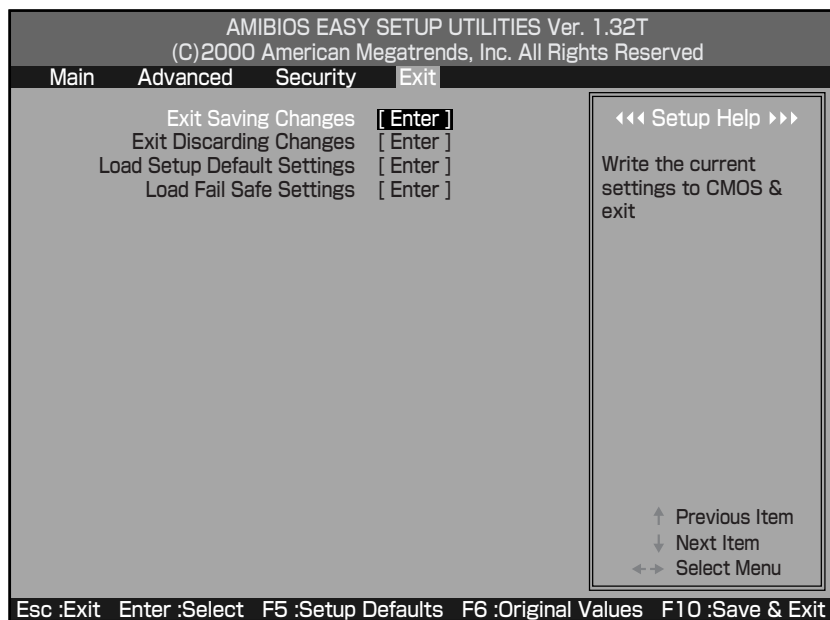
Set User Password

ユーザパスワードの設定および変更を行います。



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードは表示されませんので、確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。パスワードの解除は有償で行なっています。また、そのとき身分証明書（お客様ご自身を確認できるもの）の提示が必要となります。



Exit Saving Changes

CMOS に設定した内容を保存してから、セットアップを終了します。

Exit Discarding Changes

CMOS に設定した内容を保存せずにセットアップを終了します。

Load Setup Default Settings

BIOS セットアップの内容を既定値に戻します。

工場出荷時の設定値 ⇄ 「本章 2 工場出荷時の設定値」

Load Fail Safe Settings

コンピュータが起動しない場合、この選択肢を選び、コンピュータが起動した後に、起動できなかった原因を突き止めます。

この設定はあまりおすすめできません（最良の設定ではありません）。

付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1	製品仕様	140
2	各インターフェース	144
3	エラーメッセージ	150
4	技術基準適合について	152
5	トラブルチェックシート	153

1 製品仕様

仕様概要

モデルにより多少異なります。

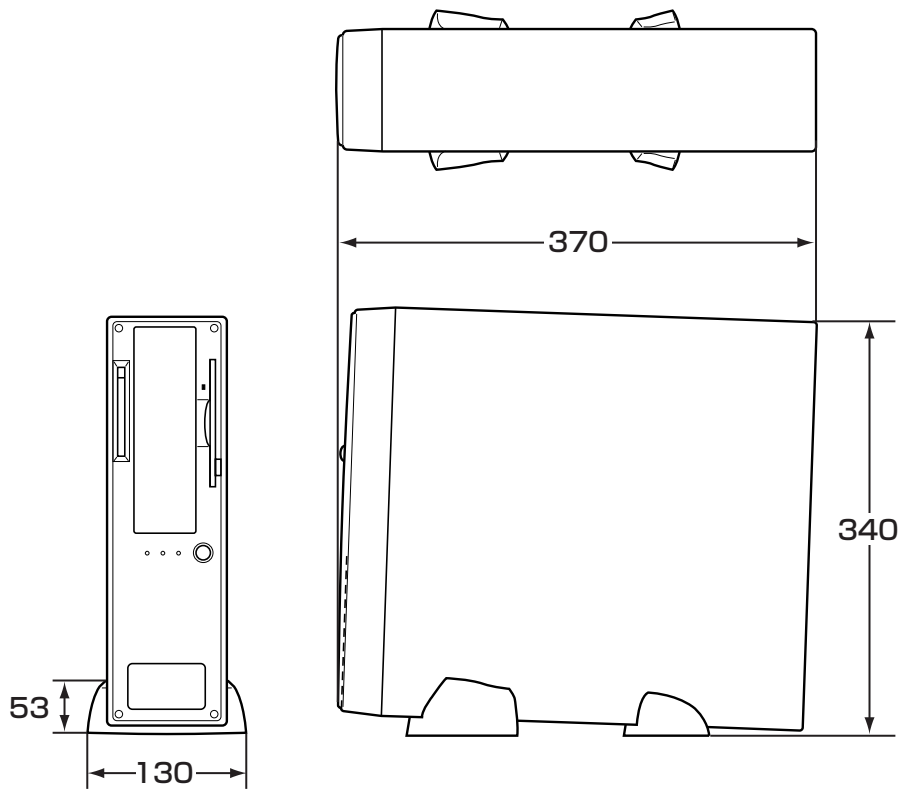
機 種		EQUIUM 5040	
プロセッサ	メインプロセッサ	Celeron 1GHz	
		1次CACHE (32kB) FPU内蔵	
		2次CACHE : 128kB	
メモリ	標準メモリ *1	DIMM 64MB/128MB/SDRAM PC100 ECCなし	
	増設メモリ	DIMMスロット×2 (内1つまたは2つを標準メモリで使用) 最大512MB (256M×2)	
		使用可能 DIMM 64MB/128MB/256MB PC100 ECCなし	
	ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)	
表示機能	コントローラ	i815EG GMCH	
	ビデオRAM	メインメモリと共有	
	グラフィック表示	640×480 256・64k・16M色 800×600 256・64k・16M色 1024×768 256・64k・16M色 1280×1024 256・64k・16M色 1600×1200 256色 *2	
通信機能	伝送速度	100Mbps TX LAN	
	適合規格	100BASE-TX/10BASE-T	
補助記憶装置	FDD	3.5型 1台装備 720kB/1.2MB/1.44MB (3モード)	
	HDD *1	3.5型 1台装備	
		20GB/40GB	
	CD-ROM または CD-R/RW *1	CD-ROM	ATAPI 読み込み最大48倍速
CD-R/RW		ATAPI CD-ROM : 読み込み最大40倍速 CD-RW : 書き込み最大10倍速 CD-R : 書き込み最大24倍速	
入力装置	キーボード	109Aキー 分離型	
	マウス	PS/2 ホイール付き	

*1 ご購入のモデルにより、異なります。

*2 デジタルRGBディスプレイの最大解像度は1280×1024です。1600×1200モードは使用できません。

機種		EQUIUM 5040
インタフェース	シリアル	1ポート D-SUB 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	アナログRGB	1ポート アナログRGB (3列タイプ)
	デジタルRGB	1ポート デジタル (DVI準拠)
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	前面 2ポート/背面 2ポート
拡張スロット	PCI	106.68mm×150mmサイズ × 2スロット
		64.41mm×150mmサイズ (Low Profile) × 1スロット
	PCカード	TYPE II × 1スロット (PC Card Standard準拠、Card Bus対応)
内蔵機能	サウンド	i815EG ICH2+AD1886 (Codec)
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug&Play対応BIOS
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	130W
周囲温度	動作	10℃～35℃
	非動作	-20℃～60℃
相対湿度	動作	20%Rh～80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	20%Rh～90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	90 (W) × 362 (D) × 310 (H) mm (縦置き時、台座を除く)
	キーボード	454 (W) × 173 (D) × 42 (H) mm (非チルトアップ時)
質量	本体	約9kg (台座を除く)
	キーボード	約1kg

● 外形寸法図



(単位 : mm)

● ハードウェアリソースについて

ご使用の環境（ハードウェア／ソフトウェア）によって変更される場合があります。

● Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
 - メモリマップ : [メモリ]
 - I/O マップ : [I/O]
 - 割り込みレベル : [IRQ]
 - DMA チャンネル : [DMA]

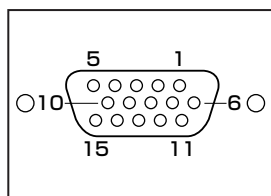
● Windows 98 の場合

- 1 [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
 - メモリマップ : [メモリ]
 - I/O マップ : [I/O]
 - 割り込みレベル : [IRQ]
 - DMA チャンネル : [DMA]

② 各インタフェース

● アナログ RGB インタフェース

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

● アナログ RGB インタフェースの同期信号

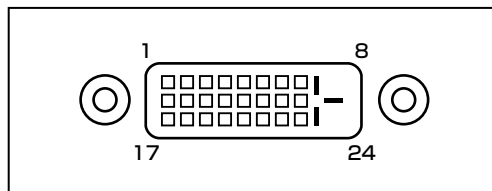
解像度 色数	640 x 480	800 x 600	1024 x 768	1280 x 1024	1600 x 1200
	垂直 (Hz)				
256	60-85	60-85	60-85	60-85	60-85
64k	60-85	60-85	60-85	60-85	—
16M	60-85	60-85	60-85	60-85	—

色数 256:256色、64k:65,536色、16M:1,677万色

ご使用になれる解像度、色数は接続するディスプレイによって異なります。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

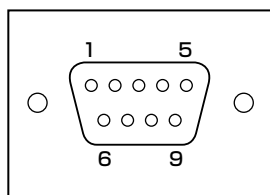
デジタルRGB インタフェース



ピン番号	意味	ピン番号	意味
1	T.M.D.S.データ2-	13	T.M.D.S.データ3+
2	T.M.D.S.データ2+	14	電圧5V
3	T.M.D.S.データ2/4シールド	15	信号グランド (5V用)
4	T.M.D.S.データ4-	16	ホットプラグ信号
5	T.M.D.S.データ4+	17	T.M.D.S.データ0-
6	DCCクロック信号	18	T.M.D.S.データ0+
7	DCCデータ信号	19	T.M.D.S.データ0/5シールド
8	未使用	20	T.M.D.S.データ5-
9	T.M.D.S.データ1-	21	T.M.D.S.データ5+
10	T.M.D.S.データ1+	22	T.M.D.S.クロックシールド
11	T.M.D.S.データ1/3シールド	23	T.M.D.S.クロック信号+
12	T.M.D.S.データ3-	24	T.M.D.S.クロック信号-

デジタルRGB ディスプレイの最大解像度は 1280 × 1024 ドットです。

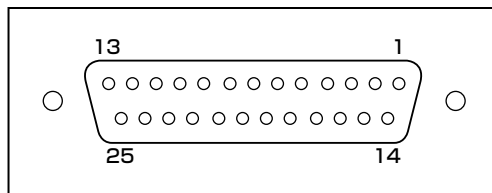
シリアルインタフェース



(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

● パラレルインタフェース

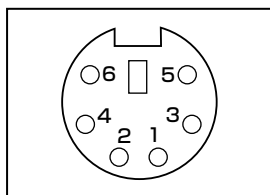


(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PDO~PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2~9	PDO~PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18~25	GND	信号グラウンド	

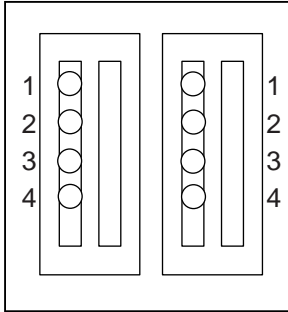
● キーボード・マウスインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



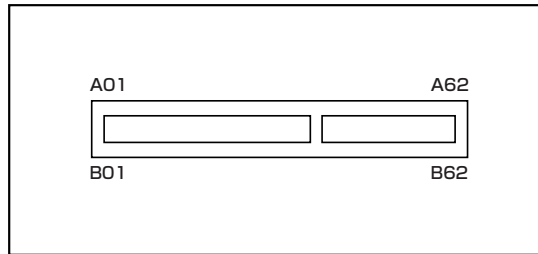
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グラウンド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

● USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

● 拡張スロット (PCI タイプカード用)



● 拡張スロット (PCI タイプ)

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	予約	
12	GND		GND	
13	GND		GND	

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		予約	
20	AD [31]	I/O	AD [30]	I/O
21	AD [29]	I/O	+3.3V	
22	GND		AD [28]	I/O
23	AD [27]	I/O	AD [26]	I/O
24	AD [25]	I/O	GND	
25	+3.3V		AD [24]	I/O
26	C/BE [3] #	I/O	IDSEL	I
27	AD [23]	I/O	+3.3V	
28	GND		AD [22]	I/O
29	AD [21]	I/O	AD [20]	I/O
30	AD [19]	I/O	GND	
31	+3.3V		AD [18]	I/O
32	AD [17]	I/O	AD [16]	I/O
33	C/BE [2] #	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	SDONE	I/O
41	+3.3V		SBO#	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE [1] #	I/O	AD [15]	
45	AD [14]	I/O	+3.3V	
46	GND		AD [13]	I/O
47	AD [12]	I/O	AD [11]	I/O
48	AD [10]	I/O	GND	
49	GND		AD [09]	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD [08]	I/O	C/BE [0] #	I/O
53	AD [07]	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD [06]	I/O
55	AD [05]	I/O	AD [04]	I/O
56	AD [03]	I/O	GND	
57	GND		AD [02]	I/O
58	AD [01]	I/O	AD [00]	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64#	I/O	REQ64#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

● PCI スロットの電流容量

PCI スロットで使用可能な電流容量は次のとおりです。

● PCI スロットの許容電流値

拡張デバイスの合計で、次の許容電流値を必ず守ってください。

電流容量	PCIスロット
+5V	4.4A以下
+3.3V	4.4A以下
+12V	0.3A (ピーク時1.3A)
-12V	0.15A以下

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるブザー類およびエラーメッセージを説明します。



注意 ・これらのエラーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、『保守サービスのご案内』をご覧ください。すぐにサービスステーションまでお問い合わせください。

エラーメッセージ	説明
BIOS BATTERY HAS FAILED CMOS Battery Low	内蔵バッテリーが消耗しています。 新しいバッテリーに交換してください。 ☞ 「4章 2 内蔵バッテリーの交換」
CMOS CHECKSUM BAD CMOS Settings Wrong CMOS/GPNV Checksum Bad CMOS Date/Time Not Set	CMOSでエラーが検出されました。内蔵バッテリーが消耗している可能性があります。 バッテリーが消耗している場合は、新しいバッテリーに交換してください。
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER	システムを起動する装置が見つかりません。 フロッピーディスク装置から起動する場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットし、 [Enter] キーを押してください。 ハードディスク装置から起動する場合は、システムが正しくインストールされているか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
DISK DRIVERS OR TYPES MISMATCH ERROR -RUN SETUP	ディスク装置が正しく定義されていません。 BIOSセットアップを起動し、ディスク装置を正しく設定し直してください。 ☞ 「7章 BIOSセットアップについて」
DISPLAY SWITCH IS SET INCORRECTLY	メインボードのディスプレイスイッチの設定が正しくありません。 メインボードのディスプレイスイッチを「カラー」に設定し、ジャンパまたはBIOSセットアップを正しく設定し直してください。 ☞ 「7章 BIOSセットアップについて」
DISPLAY TYPE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、ディスプレイアダプタが異なります。 BIOSセットアップを起動して、正しく設定してください。
ERROR ENCOUNTERED INITIALIZING HARD DRIVE / ERROR INITIALIZING HARD DISK CONTROLLER	ハードディスクをイニシャライズできません。 ハードディスクが正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。 また、BIOSセットアップで、ハードディスクの設定が正しく行われているか確認してください。 必要に応じてハードディスクのジャンパの設定が正しく行われているか確認してください。
FLOPPY DISK CNTRLR ERROR / NO CNTRLR ERROR / NO CNTRLR PRESENT FDC Failure	フロッピーディスク装置が見つかりません。またはイニシャライズできません。 フロッピーディスク装置が正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

エラーメッセージ	説明
KEYBOARD ERROR / NO KEYBOARD PRESENT	キーボードをイニシャライズできません。 キーボードのケーブルが正しく接続されているか確認してください。 また、起動中にキーを押さないでください。
MEMORY SIZE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、メモリの量（サイズ）が異なります。 （システムに認識されていません） BIOSセットアップを起動し、新しいメモリの量を設定してください。
MEMORY VERIFY AT...	メモリ書き込み確認でエラーが検出されました メモリマップを確認のうえ、デバイスが使用するメモリを指定された範囲内に設定してください。
PRESS A KEY TO REBOOT	再起動が必要なエラーが発生しました。 どれかキーを押してください。システムが再起動します。
PRESS F1 TO DISABLE NM1, F2 TO REBOOT	BIOSがNMI状態を検出しました。 NMIを無効にするには[F1]キーを押します。 NMIを無効にせずにシステムを再起動するには[F2]キーを押します。
RAM - CHECKING FOR SEGMENT...	RAMでエラーが発生しました。 故障したRAMを新しいものと交換してください。
SYSTEM HALTED. (CTRL- ALT-DEL) TO REBOOT	システムを正常に起動できませんでした。 [Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して、再起動してください。
Pri Master HDD Error Pri Slave HDD Error Sec Master HDD Error Sec Slave HDD Error	接続されているHDDが壊れている可能性があります。

4 技術基準適合について

● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

● レーザー製品の取り扱いについて

- ・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに依頼してください。
- ・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- ・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス1レーザー製品

● 仕様について



お願い

- ・本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

● 製品寿命について

- 本製品の内蔵バッテリーの寿命は約3年です。

5

トラブルチェックシート

円滑に対応させていただくために、お問い合わせの前に下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせください。

Q.1 ご使用になっているパソコン名（型名）は？（本体や取扱説明書をご覧ください）

機種名： _____

下記の情報をお尋ねすることがございます。

（製造番号： _____、購入店： _____、購入日： _____ など）

Q.2 ご使用になっているソフトウェア環境は？

Windows® 2000・Windows® 98 など、お使いのシステムとアプリケーションをお知らせください

OS（システム）名： _____

その他： _____

Q.3 どのような症状が起きましたか？

症状： _____

Q.4 その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？

ハードウェアの増設の後（具体的に： _____）

ソフトウェア導入の後（具体的に： _____）

その他（具体的に： _____）

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？

表示内容： _____

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？

一度発生したが、その後発生しない

電源を切らないと発生するが、電源を切って再起動すれば発生しない

電源を切ってから再起動しても必ず発生する

その他： _____

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？

ある一定の操作をすると発生する

どんな操作をしても発生する

その他：

Q.8 インターネットや通信に関するご相談の場合

プロバイダ名：

使用モデム名：

使用回線：内線発信アリ 内線発信ナシ 携帯 PHS

ダイヤル回線 プッシュホン回線 ISDN

Q.9 お問い合わせの内容が周辺機器の場合、ご使用になっている周辺機器名は何ですか？

機器名（製品名）：

メーカー名：
